

事務事業名	長衛祭(伊那市)開催・参画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6149							
			所属課室	観光商工課		課長名	塚原浩二							
	☐ 実施計画事業		所属担当	観光担当		担当者名	三井孝司							
基本政策	基本計画体系	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目				
		09		地域資源を活かした観光の振興	01	一般	0	7	1	0	0	3	0	2
政策		観光基盤の整備	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金										
施策	16													
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H15 年度)		法令根拠	なし										
	☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)													
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・南アルプスの登山道開発や登山者の利便性に答えるため、北沢峠周辺に山小屋を建てるなど、南アルプスの開拓に尽力された竹沢長衛氏の功績を湛え、夏山登山の安全を祈願する祭りを伊那市と共催で開催する。 ・今後も同様に継続していく。			事業費の主な内訳 (22年度)										
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)				
				其他負担金		150								
				消耗品費		4								
								計		154				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	竹沢長衛氏の碑前において、献花、アトラクション、交流会及び記念登山を実施
23年度活動予定	竹沢長衛氏の碑前において、献花、アトラクション、交流会及び記念登山を実施予定
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
長衛祭参加者	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
	竹沢長衛氏の功績への感謝の意を持ってもらう。 登山者の安全を祈願してもらう
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	南アルプス山系登山者が安全登山を心がける

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 実施回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 長衛祭参加者	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 長衛祭参加者安全登山を心がけた人数	人
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 南アルプス山系を訪れる登山者が安全登山を心がけた人数	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	154	154	153	155	155	155	
	事業費計 (A)			千円	154	154	153	155	155	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	
		人件費計 (B)	千円	45	45	40	40	40	40	0
	(A) + (B)			千円	199	193	195	195	195	0
活動指標			ア 回	1.0	1.0					
対象指標			ア 人	250.0	500.0					
成果指標			ア 人							
上位成果指標			ア 人							

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	旧長谷村の呼びかけにより、旧芦安村と共催で行っていた事業。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	共催者であった長谷村が、平成18年に伊那市と合併した。 22年から式典の規模を拡大した。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	南アルプス市の共催について、今後どの程度の関わりを持つべきか。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☒ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	共催行事であるが、基本的に伊那市が主体となって企画しているため
H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	長衛祭(伊那市)開催・参画事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 南アルプス市の推進する山岳観光振興に結びつく祭典であるため。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 南アルプス開拓者に感謝の意を表し、多くの登山者の安全登山を祈願する祭典であるため。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 伊那市との共催事業であり、山岳観光推進を目的とした伝統的な祭典であるため見直す余地がない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 伊奈市が主体となって行う式典であるため、基本的に参加という形を取っている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 式典会場が南アルプス市の管理する山小屋前で行う事もあり、南アルプス地域発展について伊那市との関係悪化の懸念がある。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 廃止するためには伊奈市との協議が必要となる
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 伊奈市が主体となって行う式典であるため、基本的に参加という形を取っている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 事務にかかる最低限必要な人件費のため、削減の余地がない。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 南アルプス北部地域を訪れるすべての登山者を対象としている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	歴史的文化的を守っていくための事業であり、必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr> </table>	成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					